

Wish

世界の子どもたちのために

vol.52

2017年5月号



みんなの願いをこめてよせがきをしました。(ユニセフのつどい)

CONTENTS

- | | | | |
|-----|--|-----|----------------------|
| 2-5 | 特集 EVENT REPORT 兵庫県ユニセフ協会設立 15 周年記念事業
記念講演会 / ユニセフのつどい | 6-7 | 活動ファイル
2017年1月～4月 |
| 別紙 | 兵庫県ユニセフ協会設立 15 周年記念講演会「今 そこにある命を救いたい」 | 8 | お知らせ |

特集 EVENT REPORT

兵庫県ユニセフ協会 設立 15 周年記念事業



兵庫県ユニセフ協会は設立 15 周年を迎えました。

記念事業として、グローバルファンド戦略・投資・効果局長 國井修さんの講演会と、来賓をお迎えしてのユニセフのつどいを開催しました。



- ▲ 記念講演会で自らの経験とミッションについて熱く語る國井修さん。
- ▲ 関西学院大学教授。元 UNICEF 職員。講師の國井さんと古くからの親交があったことから講演会の進行をした久木田純さん。
- ▶ 講演会のオープニングとエンディングでクロマチックハーモニカの素晴らしい音色を披露した竹内海人さん。



記念講演会

今そこにある
命を救いたい

Event Data イベントデータ

日時 3月4日(土)
会場 兵庫県民会館(神戸市中央区)
参加者 200人



被災地をはじめ学外で積極的に活動する神戸市立須磨翔風高等学校和太鼓部の皆さん。

第15回ユニセフのつどい

世界のともだちと心をつなごう

兵庫県ユニセフ協会設立15周年目のユニセフのつどい。

午前の部。オープニングは、多くのことを「学び」「考え」「伝え」続けてきた15年を映像で振り返りました。続いて来賓の皆様や兵庫県ユニセフ協会の理事・評議員の紹介がありました。（公財）日本ユニセフ協会専務理事の早水研さんからは、祝辞の中で、コープこうべの生みの親である賀川豊彦さんの志とユニセフの理念には相通じるものがあるとお話をいただきました。募金贈呈式では、企業や団体、学校の代表者から日頃の募金活動の紹介もありました。休憩時間には、参加者はブースを巡り、支援グッズの買い物を楽しんだり、活動紹介を聞いたりして、支援団体の人々との交流を深めました。

Event Data イベントデータ

日時 3月18日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
参加者 250人



(公財)日本ユニセフ協会専務理事 早水研さん

ご臨席の皆様 (敬称略、順不同)

(公財)日本ユニセフ協会団体・企業事業部 海老原隆一、今井田枝里
北海道ユニセフ協会、岐阜県ユニセフ協会、大阪ユニセフ協会、
鳥取県ユニセフ協会、広島県ユニセフ協会、香川県ユニセフ協会、
愛媛県ユニセフ協会、久留米ユニセフ協会

午後にはわくわくカフェ。ネバーで未来の教育の実現を目指している「YouMe Nepal」のシャラドチャンドラライさんのスピーチを受けてグループトークをしました。それぞれが感想や夢を語り、最後はグループ内の素敵な人を全員に紹介。世代を超えて心寄せ合う場になりました。

フィナーレは、高校生による

和太鼓の演奏。力強く、時に軽快な和太鼓の音が、会場に、参加者の心に、響き渡りました。15周年の節目となるつどいは、世界の子どものために、夢に近づく未来への一歩を踏み出す日になりました。

ご支援ありがとうございます 募金贈呈式



参加団体 (敬称略、順不同)

- ・伊藤ハム株式会社
- ・コープこうべ
- ・コープこうべユニオン
- ・自由ヶ丘高等学校

伊藤ハム株式会社は対象商品の販売数量に応じて1パックにつき1円を教育支援に寄付。自由ヶ丘高等学校は姫路駅前前でシリア緊急募金を、コープこうべは生協組合員へアフリカ干ばつ緊急募金を呼びかけました。



6



7



8



9



10

ひろがる輪 おとし

ブース
を展開する団体が
それぞれの活動を紹介。
新たな発見も
ようです。

6

石光商事株式会社

「ともに考え、ともに働き、ともに栄えよう」の理念のもとに、世界各地のコーヒー輸入など食にまつわるさまざまな事業を展開。

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

7

ミャンマー関西

2010年11月から活動スタート。ミャンマーの子どもたちに対する活動支援をしている。

ミャンマー関西

8

賀川記念館

賀川豊彦とその仲間たちによる働きと志を引き継ぐ地域福祉コミュニティセンター。岩手県宮古支援商品を販売。

<http://www.core100.net/>

9

笑顔つながろう会

福島から京都に避難しているママたちが中心となって集まる場を作り、手作り品の製作・販売を被災者応援につなげている。

10

やんだくない

「嫌ではないよ」という気持ちをチーム名にし、できることで役立ちたいと岩手支援の食品などを販売している。

16

灘高等学校

2012年から東北訪問合宿を続けている。今回は昨年末福島を訪れたメンバーによる被災地報告。

17

姫路大学

国際支援看護師を目指す学生がパネル展示やクイズを通して、エイズの正しい知識を広める活動をしている。

18

神戸 YJB

神戸ヤング・ジンババの会。バルーンアートや紙遊びを通して、児童館を中心に子どもたちと交流している。

19

コープこうべ 「まちライブラリー」

みんなが持ち寄った本を通じて人とつながり、ライブラリーを育てることでコミュニティづくりを目指す活動。

20

ユニセフコーナー

兵庫県ユニセフ協会の活動紹介とユニセフクイズ、支援物資の展示。よせがきは大きな凧!



16



17



18



19



20

わくわくカフェ参加者のことば

世界が平和になるためには小さな平和の積み重ねが大切。
(中学生)

伝えていくことが大切。
教育に関わりたい。
(大学生)

大人たちは若さのパワーにびっくりするやうらしいや。日本の未来は安泰です。
(大人)

日本の子は勉強できてうれしいという思いは少ないのでは。途上国ではうれしいと思う子がほとんど。「生きる力」も持っている。幸せすぎる日本の子どもたちに強さを教えてあげたい。(大人)

人の夢に便乗しながら幸せをかみしめています。応援する側として頑張っています。(大人)

社会人とボランティアの両立は難しく、仕事の方を辞め学生時代からの夢をかなえた人を紹介します。その行動力は素晴らしい。(大人)

まじわって、ひろがって

Workshop わくわくカフェ

迫裕太さんの司会進行による「わくわくカフェ」では、どのグループでもみんなが熱心に語り、それぞれの話に耳を傾けていました。たくさん出た意見の一部を紹介します。

迫裕太さん 兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ「ユニーズ」のメンバー。学生団体「SMILE」代表も務め、不登校や、自殺未遂など社会問題に巻き込まれる子どもたちを支援する活動をしている。





1

ルワンダの教育を考える会

ルワンダの平和に寄与することを目的に設立。内戦で心身ともに傷ついた子どもたちにさまざまな教育支援をしている。

<http://www.rwanda-npo.org/>

2

AFRICA EXOTIC RESORT

アフリカ諸国の雇用を増やしたいとの思いで始めた店。おいしいナッツやジャムなどを輸入し販売している。

<https://www.africa-exotic-resort.com/>

3

CHA

カンボジアの女性障がい者が、裁縫などのスキルトレーニングを通じて社会復帰を目指す活動をしているNGO。

[f chajapan](https://www.chajapan.com/)

4

ソルト学生支部

フィリピンのごみ山周辺のスラムに暮らす人々、なかでも子どもと女性への支援を行う同志社大学の学生団体。

<https://kyojyu-ken.jimdo.com/>

5

アマニ・ヤ・アフリカ

Amani ya Africaとはスワヒリ語で「アフリカの平和」という意味。アフリカの人々の自立や子どもたちの教育を支援している。

<http://amani-ya.com/>

つながる輪、

Boa

出展

世界中で支援活動
ブースを出展し、それ

情報交換による

多くあった

11

ナマステな会

さまざまなイベントを通して、ネパール大地震への意識向上や募金活動などに取り組んでいる京都外国語大学の団体。

[f ナマステな会](https://www.namaste-naikai.com/)

12

NGO ネパール「虹の家」

大地震で被災した孤児への支援をきっかけに設立。子どもたちの教育や女性の自立支援をしている。

<http://meigen.moo.jp/rainbow-house/>

13

CODE

海外災害援助市民センター。「困ったときはお互い様」「最後のひとりまで」を合言葉に、海外の被災地支援をしている。

<http://www.code-jp.org/>

14

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

地雷・小型武器・子ども兵という課題に対する海外での支援活動と、国内での啓発活動や大館復興利子プロジェクトを実施。

https://www.terra-r.jp

15

認定NPO法人 アクセス

フィリピンと日本で貧困問題に取り組み、一人ひとりが地球市民としてより良い社会をつくっていくことを目指す。

<http://www.page.sannet.ne.jp/acce/>



▼ シャラド チャンドラ ライさん
「YouMe Nepal」代表。
YouMeには「夢」と「You & Me」の意味が込められている。日本でIT企業に勤めながら、ネパールの教育支援活動を行っている。



爆心地から1kmの所で被爆した。幸運が重なって生かされている。体験を語り継いでいきたい。(大人)

誰かのためになることが自分の幸せになっていることに気付いた。(高校生)

わ

1

第1回 国際理解講座 「生きる力ってなんだろう」 ～子どもたちの笑顔、命の輝き～

講師 マゴスクール主宰 早川 千晶さん
日時 2月25日(土)
会場 姫路青山「コープのつどい場」(姫路市飾西)
参加者 20人



早川さんは、中学生の参加が多いこともあり、なぜ世界を旅するようになったか、どうしてアフリカに住むようになったか、ケニアのキベラスラムに住む人々やストリートチルドレンの暮らし、日本での不登校の問題についてわかりやすく語りかけるように話しました。

キベラスラムでは、誇りを持って誰かのためにお金を出し合うという意味の「ハランベ」が日常的に行われています。みんなで助け合えば生きていけると信じています。だからみんな笑顔です。そんな中にあるマゴスクールは、ゴミ捨て場に集まる子どもたちや頼る所のない人たちが集まり家族となっている所、分かち合える場です。子どもたちの中には安心できる暮らしの中で勉強し、世の中を変えたいと努力し、成功を収めている卒業生もいます。

自分ひとりじゃないと思えることは、生きる力を与えてくれます。それは日本でも同じことです。早川さんは、「学校へ行くことが当たり前の中で不登校になっている人がいれば、勇気を持ってその人に声を掛けてください。」と話を結びました。

2

コープファミリーフェスタに参加

日時 2月26日(日)
場所 コープカルチャー西宮(ゆとり生活館アミ)



コープカルチャー西宮のサークルとくらぶの発表会に、兵庫県ユニセフ協会もスタンプラリーと舞台に参加。舞台では「ユニセフの本部はどこ?」などの三択問題を出題し、参加者の皆さんに答えていただきました。楽しいクイズからユニセフのことを知っていただく機会になりました。



Activities File

活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2017年1月～4月



Activities List

学習会訪問一覧

月日	訪問先	対象	人数
1月18日	尼崎市立園和北小学校	6年生	133
2月27日	姫路市立妻鹿小学校	6年生	41
3月 3日	神戸市立福住小学校	6年生	87
3月10日	姫路市立香呂小学校	6年生	77
3月17日	コープ浜芦屋レインボースクール	大人	5
4月11日	神戸ワイズメンズクラブ例会	大人	29
4月16日	ボーイスカウト姫路第16団	小学生	35
4月22日	ユニセフ入門講座	大人	23

地域活動一覧

*ユニセフ紹介と支援グッズの展示

月日	イベント名	
2月11日	「ひょうご・こうべワールド・ミーツfor YOUTH」 ×第4回高校生「国際問題を考える日」	*
2月12日	2017ユニセフカップ 神戸バレンタイン・ラブラン	
2月18日	早川千晶さん 賀川賞受賞記念講演会	
2月25日	第1回 国際理解講座	
2月26日	コープファミリーフェスタ	
3月 4日	兵庫県ユニセフ協会設立15周年記念講演会	*
3月12日	神戸交際交流フェア	*
3月18日	第15回 ユニセフのつどい	*
4月 9日	2017ユニセフカップ 芦屋さくらファンラン	*

募金していただいた学校・団体

月日	対象	備考
2月 9日	啓明学院	
2月12日	2017ユニセフカップ 神戸バレンタイン・ラブラン	
2月23日	一粒園認定こども園	
2月23日	自由ヶ丘高等学校	
3月18日	伊藤ハム株式会社、コープこうべ、 コープこうべユニオン	
3月22日	西宮ホワイトライオンズクラブ	外貨
3月27日	虹っ子エバラ春休み劇場	
3月30日	コープ三木緑が丘コープ委員会	
4月 9日	2017ユニセフカップ 芦屋さくらファンラン	
4月14日	姫路城を守る会	外貨

3 「ひょうご・こうべワールド・ミーツ for YOUTH」 × 第4回高校生「国際問題を考える日」にブース出展

日時 2月11日(土)
会場 神戸国際展示場2号館



昨年9月に開かれたG7神戸保健大臣会合の成果を次世代に継承するために、同会合推進協議会・WHO神戸センターが主催した「ひょうご・こうべワールド・ミーツ for YOUTH」と、兵庫県教育委員会・大阪大学による「高校生『国際問題を考える日』」の合同イベントにブース出展しました。

県内外の約25校約500人の高校生が参加。講演を聞くほか、保健・科学・国際問題などの研究成果をまとめたポスター発表で意見交換したり、国際的な活動をしている30の団体・機関のブースを回って話を聞いたりしていました。

ユニセフブースでは、ブランピー・ナッツなどの支援物資の展示と活動の紹介などを行いました。日頃から国際問題に関心のある生徒たちは、スタッフの説明をしっかりと聞き、熱心に質問していました。

兵庫県ユニセフ協会設立15周年記念事業

予告 ユニセフひろば

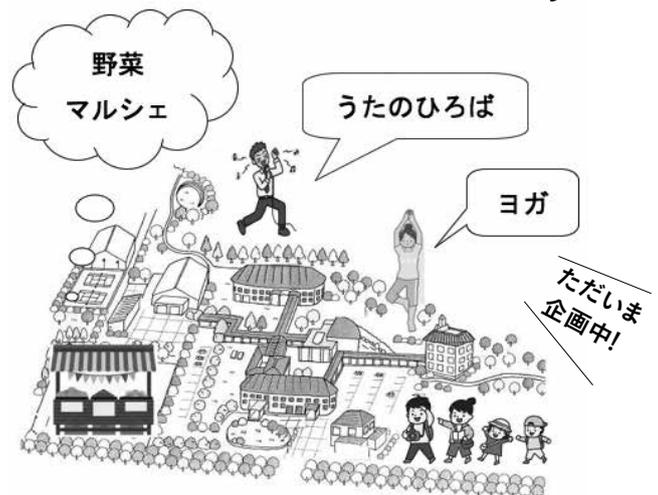
日時 2017年11月12日(日)
会場 コープこうべ協同学苑(三木市青山)

参加することがユニセフ募金につながるチャリーウォーク。コースとなる3万坪の広大な敷地に造られた散歩道には、ユニセフのことを学べるチェックポイントや楽しいイベントがたくさん!!

ゴールでは野菜マルシェが開かれています。

参加するみんなが主役のひろば、ぜひご予約ください。

たくさんのお楽しみを用意してお待ちしています



Pick Up

ユニセフカップマラソン



ユニセフカップマラソンは、参加料の一部がユニセフへ寄付される兵庫県だけの大会。1980年代半ばに始まり、2月には神戸バレンタイン・ラブラン、4月には芦屋さくらファンラン、そして11月には西宮国際ハーフマラソンが、それぞれのテーマを掲げて開催されています。主催・協力企業を始め、地元自治会や、市民ボランティアの皆さんなど多くの方々の協力で支えられています。

これまでの大会回数は107回、募金総額は1億円を超えました。ありがとうございます。

各大会には、多くの皆さんが参加できるような種目が用意されています。

ご家族で、お友だち同士で、参加してみませんか。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ネパール大地震	ネパール K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道支援 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

Volunteer

あなたもボランティア!

ボランティア募集中

「できる人が できる時に できることを」をモットーに子どもたちのための活動をしています。一緒にボランティアしませんか。お気軽にご連絡ください。

Wish vol.52

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2017年(平成29年)5月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日10:00～16:00)

FAX：078-451-9830

●最新の情報はホームページで

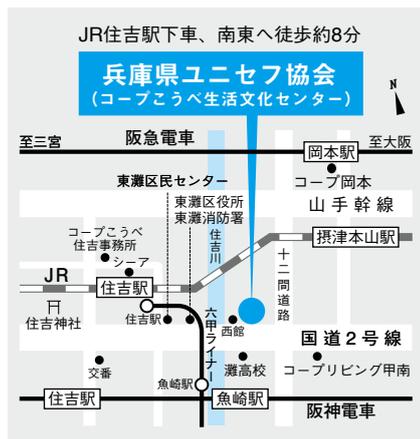
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

講師の都合により予定を変更する場合があります。詳細はHPをご覧ください。

第2回 国際理解講座 福島から考える「日本社会と多様性」

日時 5月27日(土) 13:30～15:30
会場 コープこうべ生活文化センター
講師 前川直哉さん



1977年兵庫県生まれ。東京大学教育学部、京都大学大学院卒業後、母校の灘中学校・高等学校教諭として勤務。東日本大震災と原発事故の後、生徒とともに被災地訪問を繰り返す。2014年退職、福島に転居。「ふくしま学びのネットワーク」を設立、事務局長。

第3回 国際理解講座 アフリカで23年子どもたちとともに

日時 6月24日(土) 13:30～15:30
会場 コープこうべ生活文化センター
講師 松下照美さん



1945年徳島県生まれ。1994年にウガンダでボランティア。1996年ケニアへ移住。1999年ケニア政府よりNGOの許可を受け、国際NGO「モヨ・ホーム」設立。ウガンダでの子どもたちの支援組織「HDDC」設立にも参加。2005年から「子どもの家」を開設し、現在に至る。

第4回 国際理解講座 取材映像から シリア・イラクの人たちの声(仮)

日時 9月16日(土) 13:30～15:30
会場 豊中市
講師 アジアプレス所属 玉本英子さん

お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

News お知らせ

菅野千代子写真展「仮設住宅の暮らし」



期間 5月24日(水)～31日(水)
会場 コープこうべ生活文化センター1F展示室

ユニセフ写真展「ユニセフによる戦後日本子どもたちへの支援」

期間 7月3日(月)～9日(日)
会場 神戸市役所市民ギャラリー(1号館2F)

ユニセフ国際セミナー 映画「さとにきたらええやん」 上映とトークセッション

映画をもとに、子どもたちに寄り添い、子どもたちの居場所をつくり守り続けておられるゲストの話の中から、ユニセフが提唱している「子どもにやさしいまち」について考えます。

日時 7月15日(土) 13:00～
会場 コープこうべ住吉事務所
ゲスト 荘保共子さん、浜田進士さん
主催 兵庫県ユニセフ協会
共催 コープこうべ

参加費 無料(定員100人、定員になり次第締め切り)

荘保共子さん



NPO法人「こどもの里」理事長。1977年西成消防署の横に学童保育「こどもの広場」を開設、1980年西成警察署南横に「こどもの里」として移設。労働者の街、釜ヶ崎で約40年にわたり子どもの暮らしを支えてきた。

浜田進士さん



自立援助ホーム「あらんの家」ホーム長。子どもの権利条約総合研究所 関西事務所長。元関西学院大学教育学部 准教授。子どもの権利オムブズパーソン。

映画紹介

大阪市西成区釜ヶ崎。「日雇い労働者の街」と呼ばれてきたこの地で38年にわたり活動を続ける「こどもの里」。

“さと”と呼ばれるこの場所は、無料で利用でき、学校帰りに遊びに来る子や一時的に宿泊する子、さまざまな事情から親元を離れている子だけでなく、子どもの親たちも休息できる貴重な地域の集い場です。全力で生きる子どもたち、彼らに全力で向き合う職員や大人の姿を追ったドキュメンタリー映画です。

ユニセフ出前学習会

学習会の講師派遣を行っています。お気軽にお問い合わせください。

ユニセフひょうごサポーター

賛助会員募集中
賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支援してください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。

